



目の見えない人・見えにくい人・見える人が同じ作品を楽しめるように、
 普段は平面作品を制作している美術作家達が本展に向けて、触って鑑賞できるオリジナル作品を制作しました。
 正解のない現代美術だからこそ、立場の異なる人がそれぞれの楽しみ方を見つけられるのではないのでしょうか。
 様々な人の生きがいを見つけるお手伝いをする場である、生涯学習センターならではの新しい試みです。

視力 〇,〇1

日時 **2010年7月22日(木) ---▶ 8月3日(火)**

午前**10時**～午後**9時** ※最終日は午後6時まで

場所 **大東市立生涯学習センターアクロス 3階 市民ギャラリーA**

出品作家 **尾柳佳枝 中谷由紀 中村協子 Haruhi 光島貴之**

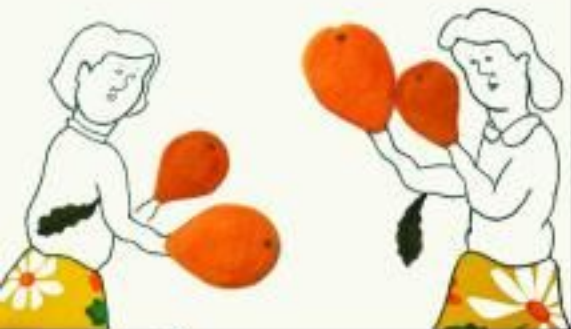
企画 **中村協子** 主催 **大東市立生涯学習センターアクロス** 料金 **入場無料**

協力 **アーツベース虹 大阪府立視覚支援学校 雑賀利幸(だいたう人財開発登録者) 点訳ボランティア「たんぽぽ」 音訳ボランティア「ともしび」
 社会福祉法人日本ライトハウス ミュージアム・アクセス・ビュー**

視力 0.01

「視力0.01」というこの一風変わった展覧会タイトルはこの展覧会の企画者である中村協子の実際の視力からつけられました。中村は角膜の異常のため、日常生活をコンタクト・レンズなしで送ることは不可能であり、そのことから「健常者」という定義のあいまいさについて疑問をもつようになりました。また、目の見えない方へ向けた展覧会や、触れる作品に色彩が少ないことが気になっており、色彩あふれる触れる作品を作ることで見える人、見えない人両方が楽しめるのではないかと考えました。そこで今回、触れること+色彩の美しさを両立させることを目指した展覧会となるよう、色彩感覚に優れた画家に作成を依頼し、この展覧会のためにそれぞれの作風の特徴はそのままに触れるように工夫されたオリジナル作品を制作して頂きました。作品は様々な試行錯誤の上、やっと出来上がりました。お時間ある方はこの展覧会ができるまでのブログもご参照くだされば幸いです。視力0.01ブログ：<http://hellodaito.exblog.jp/> 目が見える人、見えない人、見えにくい人、全ての人に楽しんでいただけたら心からうれしく思います。

視力0.01 企画者 中村協子



光島貴之 A
MITSUSHIMA Takayuki
「ウッドノートのドアを開くと」
2010年 72.7×60.6cm
キャンバス、ライナーペーパー、
カッティングシート

1964年生まれ。1995年、カッティングシートやライナーペーパーを用いた独自のスタイルで「触る絵画」の制作を開始。見えていた頃の記憶をたどりながら色を選び、何気ない日常の中から、触る世界のおもしろさを表現している。1999年から、触れや、音に注目することで、見ることを問い直す「タッチ・アート」ワークショップを企画。

中村協子 B
NAKAMURA Eyoiko
「無用の長物」
2010年 サイズ可変
フェルト、ビーズ、刺繍糸、
麻布、市販のボタン

1974年生まれ。京都市立芸術大学美術学部絵画専攻卒業。2002年より関西を拠点に作家活動を開始。2008年、ゲイサイタ11にてグループと審査員個人賞を受賞。2009年京都阿倍野本店直営「平成阿倍野絵巻」240メートルの壁画を担当。<http://homepage2.nifty.com/hi-kyoko/>

尾柳住枝 C
OYANAGI Koe
2010年
53.0×36.3cm
アクリルガッシュ、グルーガン、
フェルト、刺繍糸、紙、ほか

1976年生まれ。1999年大阪芸術大学デザイン学科卒業。大阪・東京で個展やグループ展を行う。絵、絵を動かした映像、本、イラストレーションなど制作。
<http://oyanagikoe.net/>

中谷由紀 D
NAKATANI Yuki
「びわの旬」
2010年 34×51cm
綿布、刺繍糸、羊毛、種子、
本製パネル

1975年生まれ。2001年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。複数ギャラリー（大阪）などで二度の個展を開催するほか数々のグループ展に参加。2010年より活動を三年ぶりに再開する。

Haruhi E
「暮らたプール」
[制作作者：Yuki-mi-ou]
2010年 30×34×6cm
製本ウロス、刺子のボタン、
モール、フェルト、くま、ほか

1974年生まれ。京都市立芸術大学美術学部絵画専攻卒業。

ワークショップ「触る街・聞く街」とトークサロン「触ること・伝えること」

ワークショップ：指先で街をたどったり、騒音の中から選び取られた音を聞いてみると、今までとは違う街が浮かび上がってくるでしょう。

トークサロン：ミュージアム・アクセス・ビュー代表の阿部こずえ氏と、光島貴之氏の対談。聞き手は、本展企画者の中村協子氏。

日時：8月1日(日) ワークショップ：午後1時30分～2時 トークサロン：午後2時15分～3時
会場：大東市立生涯学習センターアクロス 4階 特別会議室 対象：小学5年生以上
定員：先着30人(要予約、ワークショップ・トークサロンいずれかのみ参加可)
費用：無料 申込み：7月5日(日)から

キッズ鑑賞ツアー

日時：7月25日(日)
午前10時30分～
午後1時30分～(いずれも約30分)
会場：大東市立生涯学習センターアクロス
3階 市民ギャラリーA
対象：小学生 定員：各先着10人(要予約)
費用：無料 申込み：7月4日(日)から

※7月25日(日)は、夏休み期間中の子ども向けイベント「アクロスdeサマーフェスタ2010」を同時開催します。

貼り絵コーナー

マスキングテープやシールなどを使って、自由に描ける貼り絵コーナーを設けます。見える人、見えにくい人はアイマスクをして、手触りで絵を描く体験をしてみませんか。
日時：随時 予約不要、参加費無料、材料がなくなり次第終了。完成した作品は希望により会場中展示。

★会場受付にてアイマスクを貸し出しますので、ご希望の方はアイマスクをつけて作品を鑑賞できます

大東市立生涯学習センター アクロス

〒574-0036 大阪府大東市末広町1-301
ローレルスクエア住道サントワー内
電話：072-869-6505 FAX：072-870-1405
E-mail：info@daito-across.jp



JR学研都市線
住道駅徒歩1分
駅南側 高層マンション
ローレルスクエア内
JR住道駅南側に
連絡通路で直結しています